

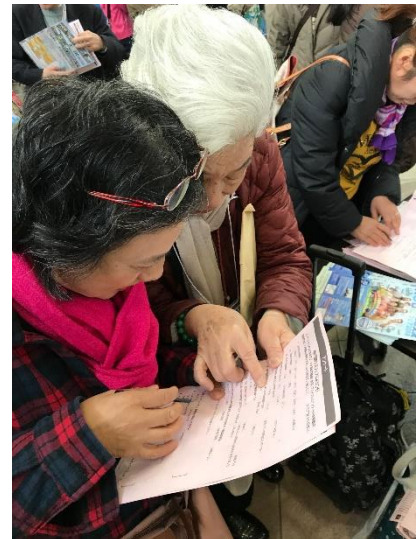


— 帰国者交流会 通信6号

〒653-0038 神戸市長田区若松町 4-4-10 アスタクエスタ北棟 502 2018.5.10
Phone.078-612-2402/FAX 078-612-3052/E-Mail kfc@social-b.net



◆2017年5月19日
神戸まつり



◆2017年11月26日
ふたば文化祭

◆2018年3月11日
神戸国際フィスティバル

(クイズ参加にて華僑の方と交流)

帰国者たちの新たな居場所作り

フフデルゲル

KFC 新長田帰国者交流会は今年度もたくさんのボランティアの助力を得て日本語学習、太極拳、ヤンコ（秧歌：ヤンガー）踊り、広場踊り、卓球、カード（トランプ）などレクリエーションを中心とした交流会を企画、運営することができました。また料理交流会、地域との交流、農業体験なども交流会に取り入れることができました。毎週50名を超える帰国者たちが、帰国者交流会に参加しています。前年度と同じく、教室の設営や準備などの運営にも帰国者二世の人たちが積極的にボランティアで関わっています。ボランティア活動を通して二世たちに自信をもってもらうことで二世たちの社会参加を促し、地域社会に出て各自の能力に応じた社会貢献ができることを目標にしています。あらためて、ご協力いただいた関連団体の皆様、ボランティアの皆様、二世の皆様に感謝申し上げます。

戦後70年が過ぎ、中国残留邦人帰国者一世の殆どが70代～90代になっており、二世も60代、70代を迎え、高齢化と介護の問題が顕著になってきています。全国的な動きとしても、公益財団法人中国残留孤児援護基金では2008年から行っていた「語りかけ事業」を2017年度からは「介護支援事業」として、全国7つの中国帰国者支援・交流センターで実施しています。生活習慣の違いや日本語が十分にできないなどの理由により、介護事業所で周囲とのコミュニケーションがうまくいかず孤立する方がいます。介護事業所で孤独感を感じている帰国者が少しでも安心して介護サービスが利用できるように「語りかけボランティア」を派遣し、精神面や身体面の状態が向上するようにしていくとのことです。2010年の聞き取り調査から始まったKFC新長田帰国者交流会ですが、帰国者一世や残留邦人二世などの高齢化により、バスや電車で1時間近くかけて参加することは段々難しくなっています。一方、神戸市や明石市の支援相談員の方からも、高齢の帰国者の方が日本人ばかりの介護サービスや老人

会等に馴染めず、行き先がなく引きこもりになっているとの話もよく聞きます。このような状況を踏まえ、帰国者に対して交流事業や介護事業を行っているKFCとして何ができるかを考えた結果、集住地域の明舞団地近辺で新たな居場所作りができないか模索してきました。そして、明舞地域で長年活動している『NPOひまわり会』の協力を得て、2017年9月10日に明舞団地にて地域の方々を巻き込んだ帰国者地域交流会を実施しました。そして『みなく～る明舞』の協力も得て、2ヶ月1回程度交流会開催の後2018年度からは毎月第二火曜日に「KFC明舞帰国者交流会」を実施することとなりました。これは帰国者達が住んでいる地域でKFCが取り組む支援活動の第一歩となります。プログラムとしては健康体操、健康相談、健康に対する日本語学習など、高齢化する一世の方のための介護予防的な内容を多く取り入れています。2017年度からつながっている大きな試みですので、皆様のご指導、ご協力の程よろしく申し上げます。

訪問看護ステーション はれ

所長 山根香代子

2017年の6月頃より、ボランティア活動で皆さんの集まりに顔を出させてもらっています。（皆看護師です。）

私は、5年あまり神戸定住外国人支援センター(KFC)の介護分野でグループホームハナ・小規模多機能ハナ所長そして看護師として働いてきました。そこでは、中国残留邦人の人たちと多く接してきました。

訪問看護ステーションはれを2017年5月よりオープンし、日本に住む外国人との共生社会実現のために、社会的弱者への健康福祉増進活動』を目的に掲げました。文化や習慣の違い、言葉の壁を通して訪問看護の必要な方への支援を行っています。

事業所は新長田にあります。訪問の対象は西区、垂水区、須磨区、長田区、兵庫区、中央区とほぼ神戸市全域にしています。

訪問看護は、訪問介護と違い、病気に関わることについてのお世話をしています。

現在、ふたば学舎の皆さんの集まりに寄せてもらっているのは、健康増進活動の一環で、皆さんから、健康に関する相談を気軽にさせていただき、その事が、皆さんのお役に立てれば、幸いと思っています。私たちも、皆さんとの会話のやり取りの中で、中国語が少しでもわかるように、中国語を学んでいきたいと思っています。これからどうぞよろしくお願ひします。

归国者们新的归属

呼和德力根

归国者新长田交流会今年度在很多志愿者的帮助下，除了学习日语，还企划了打太极拳扭秧歌，跳广场舞，打乒乓球，玩扑克牌等等以娱乐活动为中心的交流会，并且按计划实行了还有料理教室，地区交流会，农业体验等等也放入了交流会中并实行了。每周都有超过50位的归国者们来参加交流会。和上个年度一样，志愿者的归国者二世们很积极地协助教室的运营和准备。我的目标是希望通过志愿者活动，二世们增强自信心而能参加地区社会活动，发挥各自的能力，进而为社会做出贡献。在这里，我衷心地感谢有关的协助团体们，志愿者大家和二世的大家。

战后70年过去了，中国残留孤儿归国者一世大多数70岁到90岁了，二世们也60多岁快到70岁了。老龄化和看护的问题就很显著了。以日本全国来看，公益财团法人中国残留孤儿援护基金从2008年进行的“诉说事业”到2017年度成为“看护支援事业”，在全国7个中国归国者支援·交流中心实施。有些归国者因为生活习惯的不同和日语能力的欠缺，在介护事业所和无法正常和周围交流而孤立。为了让这些感到孤独感的归国者们可以安心利用看护服务，派遣了“诉说志愿者”，归国者们从精神上和身体上的状况得以缓解。2010年从调查访问开始了KFC新长田归国者交流会，但是一世和残留妇人二世都开始高龄化了，坐公交车和电车得1小时来参加交流会便慢慢艰难了。同时总是从神戸市和明石市的支援咨询员那里听到，高龄归国者都是日本人的看护服务或老人会等地方由于不习惯就不想去，结果没有去的地方就只能关在家里的消息。基于这些状况，同时有着归国者的交流事业和看护事业的KFC深思熟虑后，摸索

是否能在居住在明舞团地附近周围设置新的活动场所。然后得到常年在明舞地区活动的“NPO ひまわり会”的协助，2017年9月10日和当地居民一起在明舞团地举办了归国者地区交流会。而后并且得到“みなく～る明舞”的协助，从今年度开始2个月一次每月第二个星期二实行“KFC明舞归国者交流会”。这是在归国者大家居住的地区KFC实施的支援活动第一步，内容有健康体检，健康咨询，关于健康的日语学习等等，为了高龄的一世，增加了很多预防看护的学习内容。从2017年度开始的一个很大的尝试，还请大家多指导，多协助，谢谢大家。

访问护理所 はれ

所长 山根 香代子

大约从2017年6月份我作为志愿者开始参加KFC新长田归国者交流会活动，志愿者都是护士。我在神戸定住外国人支援中心(略称KFC)的护理领域(共同生活护理院ハナ，小规模多功能ハナ)作为所长和护士工作了5年多了，在这里我接触了很多中国残留孤儿。

访问护理所はれ2017年5月开张，设定了以“实现和在日本社会居住的外国人共存，从而促进社会弱者的福祉健康活动”为目标，跨越文化和习惯的不同，越过语言障碍，支援需要访问护理的人们。

虽然事务所在新长田，访问对象在西区，垂水区，须磨区，长田区，兵库区和中央区基本包含了神戸市的全部地区。访问护理和访问看护不同的是，可以照顾病情不同的病人。

现在我们去二叶小学归国者交流会活动，进行医疗咨询，是增强大家健康的一个环节，同时方便归国者有关健康问题可以随时咨询，能帮到大家我觉得很荣幸。我们在和归国者大家的交谈时，我想如果稍微能够理解中文的话，会更方便和大家交流，所以我更想要学习中文。今后还请多多关照。



KFC 新長田日本語教室交流会について

今江 ゆか子

日本政府は日本残留孤児の政策が実施されてから、残留孤児皆さんが順調に生活を送るように、全国各地に日本語教室を設立しました。

金理事長を初めとして、呼和さん、奥先生と一世の澤正道さんのお陰で、KFC 日本語教室が誕生して7年目を迎えます。

KFC 日本語教室で、日本語を習う他には様々なイベントが開催されます。今年4月の花見遠足、5月の神戸まつりのヤンゴ踊り、7月に映画鑑賞、9月に敬老の日の料理教室、10月に明舞地域交流会、11月は多文化共生の集い活動があります。野菜植えの農業体験が年に5回か6回あります。おかげで私たち帰国者は豊かで、楽しい生活を過ごしております。

最初 KFC 日本語教室に参加した時に、多くのボランティアの日本人先生達には、熱心でまじめに日本語を教えてくださいました。先生達は残留孤児の私たちは日本語勉強意識を高める目標で、色んな形かつ手段を尽くしてくれました。例えば、各組に分けられ、折紙や工作したり、人体五臓六腑仕組み図色塗りしたりして、簡単な医学用語を学習することができました。私の組は治井さん、松永さんと野さん 4人は松田先生が担当していました。教え方がとても上手で、私は日本語の勉強意欲が湧いてきて、毎回うきうきして教室に入りました。福田さん、寺崎先生と小笠原先生が作った教材は大変生活に役に立ちました。私は更に日本語の勉強を頑張って知識を身につけ、日本語を上手になりたいと思っていました。残念ながら、松田先生も福田さんも小笠原先生が来られなくなり、金内先生一人だけになりました。幸い去年から新しいスタッフ季さんが来て、中国語通訳ができて、私たちは助かっています。

私は日本語教室最初の頃に戻りたいです、なぜなら、その時はみんなの日本語学習の意欲が高く、勉強雰囲気もとてもよかったです。いつかその日が来るように期待しております。

KFC 新長田日本語教室

今江 ゆか子

中国政府在颁发中国残留孤儿的政策后，为了回到日本祖国后的孤儿们过上正常幸福的生活，日本全国各地纷纷设立了日语教室。

以 KFC 金理事长为首，在呼和先生和奥老师的组织下，还有一世的泽正道先生的影响帮助下，KFC 日语教室从诞生到现在已经7年了。

KFC 日语教室除了学习日语之外，还举办各种各样的活动。今年的4月份组织春游赏樱花，5月份扭秧歌参加神户祭，7月看电影赏析，9月有敬老日的料理教室，10月有明舞地区交流会，11月有多文化共存活动。一年之中还有5到6次到农园体验种菜干农活等等。通过这些丰富多彩的活动，迄今为止，我们归国者大家都觉得日子过得非常丰富很高兴。

最初日语教室刚刚办起来的时候，好多志愿者日本人老师都很热情而认真地教我们大家日语，老师们以提高我们学习日语的意识为目标，尽心尽力地通过各种方式和手段来帮助我们学习。当时老师把我们分为几个小组，通过折纸，涂人体五脏六腑图，学习了一些简单的医学用语。我在的小组包括我有4个人，是松田老师担当，老师教的非常好，从此我学习日语的意识慢慢强烈，每次都满怀期待地去 KFC 日语教室去学习。后来的寺崎老师，小笠原老师制作的日语教材非常贴近日常生活，对我来说很有帮助。通过日语教室我希望自己更加努力学习日语，一步一步加深知识，学得越来越好。

后来松田老师等好多日语老师都辞职去别的地方了，现在的 KFC 日语教室只剩下金内老师了，幸好去年交流会新的担当小季来了，会中文能当翻译，帮了我们很多忙。

我恳切希望能回到日语教室刚刚开办最初的时候，那时候大家学习日语的热情都很高，学习氛围也很浓，真心期待那一天的到来。

KFC 帰国者新長田交流会 コーディネーター担当所感

季 穎

去年 4 月頃に帰国者事業のコーディネーターを担当させていただいて、1 年が経ち、あつという間の一年間を感じました。最初は帰国者さんたちの顔と名前がなかなか一致せず、覚えるのに時間がかかったが、今は大半分かるようになりました。私は長年に日本在住してきたせいで初めは交流会の独特な雰囲気戸惑っていましたが、賑やかでエネルギーギッシュな交流会はまるで中国に帰ったようで、懐かしくて親近感を感じるようになりました。帰国者さんたちとふれあいの回数が重なっていく内に、皆さんと徐々に打ち解けていき、距離も縮んできました。私にとって大変な有意義な一年間だったと思います。

担当になったばかりの頃は先輩のフフさんとボランティアの小笠原先生に色々教えていただき、大変助かりました。帰国者のみんなさんは日本語のレベルはまちまちで、教材作りは大変難しく感じましたが、小笠原先生は日本語教材作りに、大変協力的で、教えるのも上手で、相談にもよく乗っていただきました。しかし、今年大学の仕事が決まったので、来られなくなりました。幸いボランティアの金内先生と新しい高野先生が来て頂いています。特に金内先生は自身介護の経験や豊富な人生経験を生かしながら、熱心に授業されています。中高年の帰国者さん達は徐々に歳が重なっていくうちに、健康や医療に関する実用的な日本語表現と知識に興味があり、熱心に習ってくれます。ですので、教材作りの方向性が見つかり、授業のペースもゆっくりと進むように心がけています。通常の交流会以外に農園体験、映画鑑賞や祭りの参加等々多彩豊富なイベントも一年中に多数開催されています、帰国者の皆さんはとても積極的に参加しています。

楽しそう生き生きとしたみんなと関わりながら、私も元気をもらっています。帰国者事業のコーディネーターという仕事はやりがいを感じると共に責任も重いと感じます、まだまだ未熟な私ですが、力のある限りに帰国者の皆さんをサポートしていきたい

と思っています。引き続き新年度もどうぞよろしくお願ひします。

接任 KFC 帰国者新長田交流会担当所感

季 穎

去年 4 月份左右，我接任了 KFC 归国者事务协调员的工作有一年了，感觉这一年过得飞快。每周星期二的归国者交流会有 50 多名归国者一世和二世参加，热闹非常。我最初归国者的名字和脸对不上，费了很多时间，慢慢地现在能记住大多数归国者了。我虽然基本每年会回国探亲，但时间很短，又由于长期居住在日本社会的缘故，刚开始不太习惯交流会独特的气氛，但每次去热闹而充满活力的交流会我感觉像回到中国，非常令人怀念，很有亲近感。和归国者们接触的次數多了以后，慢慢熟悉了，感觉和大家的距离缩小了，亲近了很多。所以这一年对我来说是很有意义的一年。

一开始接任工作的时候呼和前輩，福田前輩教了我很多工作事宜。由于归国者大家日语水平都不一样，制作日语教室的教材就感觉很难，幸好志愿者的菅原老师很热心，帮忙制作教材，教课也教得很好，帮了我很多，可惜她今年在大学就职了交流会便来不了了。幸好还有志愿者得金内老师和新的高野老师来参加交流会，特别是金内老师有着很丰富的护理知识和经验，上课时会很热心并尽量浅显易懂地讲解关于护理方面的知识，我用中文翻译协助大家理解知识。一世包括二世的归国者大家慢慢年纪大了，关于健康和医疗方面等实用的日语用语和知识会非常感兴趣，上课便很认真。所以我找到了今后制作日语教材的方向，根据归国者大家的意见放慢上课的进度。除了通常的交流会以外一年之中还有体验农园，看电影，各种节日演出等等丰富多彩的活动，归国者大家都非常积极地参加。

每周二的交流会不仅是归国者大家学习日语，练习太极拳和广场舞的地方，更是大家相聚放松心灵的地方。我也觉得这份工作很有意义并且责任重大，我还有很多不足之处，但我想尽力去做好支援归国者这份工作，还请大家多多协助和关照。



◆ 2018年2月20日
 新春会



◆ 2017年9月10日
 帰国者地域交流会

KFC 帰国者明舞交流会の様子 & 予定



健康をテーマにした日本語学習



介護予防体操

2018年度予定
4月10日(火)
5月8日(火)
6月12日(火)
7月10日(火)
8月 夏休み
9月18日(火)
10月9日(火)
11月13日(火)
12月11日(火)
1月15日(火)
2月12日(火)
3月12日(火)

編集発行：特定非営利活動法人
 神戸定住外国人支援センター